満天の星

令和４年６月14日
村上市立神納小学校
学校だより６月号

ブログ随時更新中

「子育ては外注できない！」

校長　見原　恵

「子育ては、外注できない！」
「親の面倒さで、その場を切り抜けない。その結果どうなるか考えてください。」

先日、ある研修会で紹介された水泳のオリンピック選手、池江璃花子さんの母、池江美由紀さんの言葉です。ドキッとするとともに、「そうだよなあ。」と４人の子育てをほぼ終了した身としては、大いに反省し、ズシンと心に響いたので紹介したいと思います。

池江さんは、璃花子さんの病気が発覚した時、「大変なことになってしまったとショックを受けたんですけど、ただそこで立ち止まっていられないですから。治療に向けて、現役復帰に向けて、歩き出さなければいけないんだな。」「母親としてとにかく子どもを導いていかなきゃいけない。勇気づけてあげなきゃいけない。親が取り乱していたら子どもが前向きになれるわけもありませんから。」と気持ちを切り替えたそうです。

また、「初めての子を妊娠した時、『カエルの子はカエルじゃないんだな』と思ったんです。カエルだと思ってカエルの子育てをするからカエルになるのであって、私のようないわゆるトンビでもタカの子育てを真似てやればタカになるんだな、とたくさんの本から学びました。」と言っています。

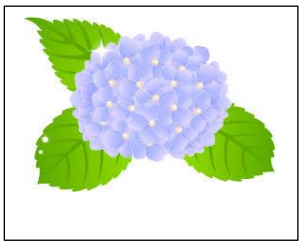
そして、「それ以来、常に子どもに対してポジティブな言葉を掛けていきました『あなただったら、できるよ』『あなたの中には、もっともっと可能性があるんだよ。もっともっと天井は高いし、天井の上には空があり、さらに宇宙がある』と言って、決して限界をつくらない。」と語っています。※『致知別冊「母」VOL.２』（致知出版社）より

幼少期の子どもは、親の言葉や行動をすべて吸収して自分の性格をつくっていくわけですから、親が常にポジティブな言葉を掛けポジティブな行動をしていれば、そういう子どもになっていく。反対に、常にネガティブな言葉を掛け、ネガティブな行動をしていれば、子どもの自己肯定感は育っていきません。

有名な作家「ドロシー・ロー・ノルド」の**「子どもは親の鏡」**と通じるものがあると思いませんか。子育ては本当に大変です。でも、決して逃げるわけにはいきません。子どもとともに、私たち親（大人）も成長していきたいものです。

「子どもは親の鏡」　　作　ドロシー・ロー・ノルト

〇けなされて育つと，子どもは，人をけなすようになる
〇とげとげした家庭で育つと，子どもは乱暴になる
〇不安な気持ちで育てると，子どもも不安になる
〇「かわいそうな子だ」と言って育てると，子どもは，惨めな気持ちになる
〇子どもを馬鹿にすると，引っ込みじあんな子になる
〇親が他人を羨んでばかりいると，子どもも人を羨むようになる
〇叱りつけてばかりいると，子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
〇励ましてあげれば，子どもは自信を持つようになる
〇広い心で接すれば，キレる子にはならない
〇ほめてあげれば，子どもは，明るい子に育つ
〇愛してあげれば，子どもは，人を愛することを学ぶ
〇認めてあげれば，子どもは，自分が好きになる
〇見つめてあげれば，子どもは，頑張り屋になる
〇分かち合うことを教えれば，子どもは，思いやりを学ぶ
〇親が正直であれば，子どもは，正直であることの大切さを知る
〇子どもに公平であれば，子どもは，正義感のある子に育つ
〇優しく，思いやりをもって育てれば，子どもは，優しい子に育つ
〇守ってあげれば，子どもは，強い子に育つ
〇和気藹々とした家庭で育てば，子どもは，この世の中はいいところだと思えるようになる



2022 運動会
「協力して あきらめずに 心に残る運動会にしよう！」

５月２１日（土）に運動会が行われました。３年連続で感染症対策のため午前開催でしたが、子どもたちは、競技に応援に本当に頑張りました。今年は赤組のダブル優勝（総合優勝、応援賞）となり、閉会式では喜びや悔しさのために涙を流す子どもたちの姿が見られました。保護者の皆様には、感染症対策のため、参加人数や応援場所など、様々な面でご協力をいただきました。皆様の協力のおかげで、素晴らしい運動会になりました。感謝いたします。ありがとうございました。

児童代表あいさつは１年生２人で行いました。元気な声で話すことができました。

赤組、白組それぞれの応援団長が、真剣な表情で選手宣誓を行いました。

スポーツ委員会によるスローガン紹介。全校が心を一つにスローガンを心の中で唱和しました。

赤白ともにきびきびと動き、大きな声で応援しました。競技中も応援席から力一杯友達を応援する声が響きました。
応援賞は赤組でしたが、どちらも素晴らしい応援を見せてくれました。

１，２年生は 50m、３年生以上は８０ｍを走りました。どの学年もゴール目指して全力疾走！

低中高学年の団体種目。低学年の「チェッコリ玉入れ」では応援団も一緒に踊っていました♪

避難時の本部旗・救護旗作成♪

地域ボランティアの方にお願いし、非常時に子どもたちが避難する際の「本部旗」「救護旗」を作成していただきました。

避難訓練以外で使うことのないことを願っていますが、非常時にこの旗を目指して素早く行動できる子どもを育てていきます。

人権の花を育てています

５月１２日（木）に、村上人権擁護協議会から人権の花と球根をいただきました。翌日には、子どもたちがこの花や球根をプランターに植えました。人権の花を育てる活動を通して、友達に対する思いやりや友情の心の花を咲かせてほしいと思います。

キンセンカの花をいただきました

桃川農園よりキンセンカの切り花をいただきました。５月１９日（木）に、環境委員会の子どもたちが桃川農園を訪問し、佐藤譲代表から説明をうけた後、摘み取り体験を行いました。いただいた花は各教室や保健室などに飾りました。鮮やかな色のキンセンカは学校を明るく彩ってくれました。ありがとうございました。

学校田　田植え

５月２０日（木）に、５年生は桃川の学校田で田植え体験をしました。初めてという子も多かったですが、ボランティアの皆様にもお手伝いいただき、泥だらけになりながらも無事植えることができました。また、６月９日（木）には新耕農産の板垣さんが学校にミニ田んぼを作ってくださいました。今後、苗の生長を観察したり、調べたりしていきます。

４年　お年寄り体験

４年生は総合的な学習の時間では、「福祉」をテーマに学習をしています。５月２７日（金）、社会福祉協議会とボランティアの方に来ていただき、高齢者体験をしました。年をとるとどんな体になるのか、高齢者に変身をしました。今回は、７５歳くらいの方の体になるという設定でした。「思ったより平気だった」「歩くだけで疲れる」などいろいろな感想がありました。この学習を通して相手の立場になって考えることのできる思いやりの心を育てていきたいと思います。

６年　佐渡修学旅行

６月８日（水），９日（木）に６年生は佐渡修学旅行に行ってきました。２日間とも天候にも恵まれ、大きな怪我や体調を崩すことなく修学旅行を終えることができました。修学旅行では、太鼓やたらい舟、イカ一夜干し、砂金採り、のろま人形・石細工作りなどの体験活動に加え、トキの森公園や佐渡金山も見学しました。子どもたちにとって忘れられない思い出になりました。

「ぽてとの会」の読み聞かせ

６月２日（木）に、読み聞かせボランティアの「ぽてとの会」の方がおいでになり本年度１回目となる読み聞かせをしていただきました。今回は１、２，４年生でしたが、どの学年も集中してお話を聞いていました。読み聞かせをとおしてどの子も本に親しんでほしいと思います

草刈りボランティア、ありがとうございました

６月１１日（土）に草刈りボランティアの方に来ていただき、グラウンド周辺の草刈りをしていただきました。体育や休み時間などで、子どもたちも気持ちよく活動することができると思います。ありがとうございました。活動日や活動内容については見直しを行いながら今後も定期的に行いたいと思います。皆様、ご協力をお願いいたします。

7月の予定

１日（金）全校朝会
５日（火）全校学年テスト(国語)
６日（水）全校学年テスト(算数)
７日（木）個別懇談①　５時間授業
８日（金）個別懇談②　５時間授業
１１日（月）個別懇談③　５時間授業
１２日（火）個別懇談④　５時間授業
１３日（水）個別懇談⑤　５時間授業
１４日（木）クラブ
１９日（火）給食最終日
２０日（水）授業３時間　地区子ども会
２１日（木）授業３時間
２２日（金）第１学期終業式
２３日（土）夏季休業
（～8/25）